

19 鉄鋼連総本第 131 号
平成 19 年 5 月 25 日

関係各位

(独)労働安全衛生総合研究所
(社)日本鉄鋼連盟

平成 18 年度事業「IT を活用した新しい安全衛生管理手法の構築」
報告会開催ご通知

拝啓 貴社ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、(独)労働安全衛生総合研究所ならびに(社)日本鉄鋼連盟は、平成 18 年度に厚生労働省より、近年進歩の著しい IT を活用した安全衛生管理支援システムの構築事業を受託し、IT 活用安全衛生システム実証研究委員会にて実証試験に取り組んでまいりました。

これらの調査結果を広く製造業全般の安全衛生管理対策の推進にご活用いただくべく、(独)労働安全衛生総合研究所ならびに(社)日本鉄鋼連盟の共催にて、下記により報告会を開催いたしますので、ご出席方ご検討いただきますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 日時・場所

①東京：平成 19 年 6 月 21 日（木）13:30～17:05（13:00 開場）

女性と仕事の未来館（地図は以下のHP参照）

<http://www.miraikan.go.jp/access/index.html>

②大阪：平成 19 年 6 月 26 日（火）13:30～16:50（13:00 開場）

新梅田研修センター（地図は以下のHP参照）

http://www.temmacenter.com/shin_umeda/access.html

※東京、大阪の報告内容は基本的に同一です。ご参加しやすい会場の方にご参加ください。

2. 定員 東京：250名、大阪：200名

※会場の関係で、定員になり次第、参加打ち切りとさせていただきます。

3. 参加費用 2,000 円（資料・会場整備代として）

4. 内容 別添 1 参照

5. 申込み要領

お申込み方法：6月8日（金）までに、別添2の申込み用紙に必要事項をご記入の上、Eメールにてお申込み下さい（rousei-anzen@jisf.or.jp）。定員により参加をお断りする場合はEメールにてご通知します。

お支払い方法：お申込み後、振込先を記入した請求書を郵送いたします。
なお、お申込み後のキャンセルはご容赦ください。

6. 問合せ先 （社）日本鉄鋼連盟 総務本部 労政・安全グループ
（担当：鈴木）

TEL：03-3669-4823

FAX：03-3669-0228

E-mail：rousei-anzen@jisf.or.jp

以 上

(別添1)

平成18年度事業「ITを活用した新しい安全衛生管理手法の構築」報告会 [東京地区]

(予定)

1. 日時：6月21日(木)
2. 場所：女性と仕事の未来館(東京都・港区)
3. 参加者数：250名(定員になり次第参加打切)
対象：各業界の安全衛生担当者等
参加費：「資料・会場整備代」として2,000円/人
4. 内容：
 - 13:30～13:35 開会挨拶
 - 13:35～13:50 講話：「我が国安全行政の課題と今後の対応(仮)」
(15分) 講演者：厚生労働省 労働基準局 安全衛生部安全課 殿
 - 13:50～14:30 基調講演：「実践的リスクアセスメントの展開とIT活用について(仮)」
(40分) 講演者：明治大学理工学部長・教授 向殿 政男 殿
 - 14:30～14:50 報告：「ITを活用した労働安全衛生管理システム(ITOSH)
(20分) —事業場でのシステム構築のための設計ガイド—(仮)」
報告者：(独)労働安全衛生総合研究所 機械システム安全研究グループ
上席研究員 梅崎 重雄 殿
 - 14:50～15:10 報告：「産業における最近のIT活用事例について
(20分) —IT機器・システム・応用例—(仮)」
報告者：(独)労働安全衛生総合研究所 電気安全研究グループ
研究員 濱島 京子 殿
 - 15:10～15:20 休憩(質問票 第1回収)
 - 15:20～16:00 報告：「平成18年度ITOSH実証試験結果について(仮)」
(40分) 報告者：鉄鋼連盟プロジェクトマネージャ(株)日鉄エレクトックス顧問 中北 輝雄 殿
※ 実証試験に使用したIT機器は会場に展示。質疑応答は休憩時や終了後受付。
 - 16:00～16:20 報告：「IT実証試験事業所：現場の安全管理の効果、課題等について(仮)」
(20分) 報告者：(株)YAKIN川崎 殿
 - 16:20～16:30 休憩(質問票 第2回収)
 - 16:30～17:00 パネルディスカッション(質問票集約し、各講演者の回答主体)
 - 17:00～17:05 閉会挨拶

平成18年度事業「ITを活用した新しい安全衛生管理手法の構築」報告会〔大阪地区〕

(予定)

1. 日時：6月26日(火)

2. 場所：新梅田研修センター(大阪市・福島区)

3. 参加者数：200名(定員になり次第参加打切)
対象：各業界の安全衛生担当者等
参加費：「資料・会場整備代」として2,000円/人

4. 内容：

- 13:30～13:35 開会ご挨拶
(10分) 厚生労働省 大阪労働局 労働基準部安全課長 松下 和彦 殿
- 13:35～14:15 基調講演：「実践的リスクアセスメントの展開とIT活用について(仮)」
(40分) 講演者：明治大学理工学部長・教授 向殿 政男 殿
- 14:15～14:35 報告：「ITを活用した労働安全衛生管理システム(ITOSH)
(20分) 一事業場でのシステム構築のための設計ガイド(仮)」
報告者：(独)労働安全衛生総合研究所 機械システム安全研究グループ
上席研究員 梅崎 重雄 殿
- 14:35～14:55 報告：「産業における最近のIT活用事例について
(20分) ーIT機器・システム・応用例ー(仮)」
報告者：(独)労働安全衛生総合研究所 電気安全研究グループ
研究員 濱島 京子 殿
- 14:55～15:05 休憩 (質問票 第1回収)
- 15:05～15:45 報告：「平成18年度ITOSH実証試験結果について(仮)」
(40分) 報告者：鉄鋼連盟プロジェクトマニージャ((株)日鉄エレクトックス顧問)中北 輝雄 殿
※ 実証試験に使用したIT機器は会場に展示。質疑応答は休憩時や終了後受付。
- 15:45～16:05 報告：「IT実証試験事業所：現場の安全管理の効果、課題等について(仮)」
(20分) 報告者：(株)YAKIN川崎 殿
- 16:05～16:15 休憩 (質問票 第2回収)
- 16:15～16:45 パネルディスカッション (質問票集約し、各講演者の回答主体)
- 16:45～16:50 閉会挨拶

以上

(社)日本鉄鋼連盟 総務本部 労政・安全グループ行
FAX:03-3669-0228 E-Mail : rousei-anzen@jisf.or.jp

平成18年度事業「ITを活用した新しい安全衛生管理手法の構築」報告会参加申込書

<参加会場>

	① 東京 : 平成19年6月21日(木) 13:30 ~ 17:05 (13:00開場) 女性と仕事の未来館
	② 大阪 : 平成19年6月26日(火) 13:30 ~ 16:50 (13:00開場) 新梅田研修センター

↑いずれかに○を付してください。

<出席者>

<連絡担当の方には、○印とTELをご記入下さい>

No.	会社名	事業所名	部署名	役職名	氏名(漢字)	氏名(ふりがな)	連絡担当者	TEL
1								
2								
3								
4								
5								

<参加費請求先>

※参加費の請求先が異なる場合には、参加費請求先毎にお申込ください。

会社名	事業所名	部署名	役職名	氏名	
〒	住所				TEL